

オープンイノベーション拠点「Mogi Note」の オープニングセレモニーを開催します！

株式会社 toitoitoi（長崎市、代表取締役：大島 徹也）は、オープンイノベーション拠点「Mogi Note」のオープニングセレモニーを開催いたします。



■ オープニングセレモニー概要

新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行による経済環境の大きな変化や DX の進展等によって、個人の雇用・働き方への考え方も大きく変わっていく中で、それに合わせるように企業の考え方も変化をはじめ、従業員を場所にとらわれず、様々な場所でサテライト的に働かせることが社会トレンド化しつつある状況です。そうした中で、「新規事業創出の種となり得る豊富な課題を背景とした R&D 環境」や、「いい景色、おいしい食事等を背景とした福利厚生策、地方で働きたい人向けへの雇用確保策」等の企業ニーズが生まれています。茂木地区は市街地近傍ながら海・山といった自然が豊富な立地で、かつ水産農林業等の一次産業が盛んかつ多くの課題も抱える地域であり、そうしたニーズに応える環境を備える地域と言えます。その茂木地区にて、地域を巻き込むコミュニティも持つ「株式会社 toitoitoi」が、自身の運営するゲストハウス「NAGASAKI HOUSE ぶらぶら」内に新たにオープンイノベーション拠点「Mogi Note」をオープンします。セレモニーでは長崎創生プロジェクトの認定、すでにスタートしている地方×都市のオープンイノベーション事例のご紹介やパネルディスカッション等を実施いたします。ここを拠点として、豊富な地域課題を種とした都市部企業と地域のオープンイノベーションによる事業共創を推進し、新しい時代における、地方での都市部企業のサテライト設置や働き方プロデュースの可能性を模索し、推進していきます。

■ 日時

令和 4 年 5 月 20 日（金） 18 : 00 ~ 21 : 00

■ セレモニーの内容

（第一部）

18:00~18:15 オープニング 株式会社 toitoitoi 代表取締役 大島氏

18:15~18:20 ご講演 一般社団法人 Work Design Lab 代表理事 石川氏

18:30~18:45 長崎創生プロジェクト認定式
18:45~18:50 長崎市長挨拶
18:50~19:00 オープンイノベーション支援チーム「NAIGAICREW」ご紹介 NAIGAICREW
19:00~19:10 長崎市企業コミュニティ醸成拠点創出推進事業説明 長崎市産業雇用政策課
19:15~19:50 オープンイノベーション事例紹介

(第二部)

20:00~20:50 パネルディスカッション

【登壇者】雲仙市観光商工部 理事 加藤氏

一般社団法人 Work Design Lab 代表 石川氏

株式会社シーエーシー 経営統括本部 経営企画部 齋藤氏

株式会社 toitoitoi 代表取締役 大島氏

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 新事業創出・DX 推進グループ DX 企画推進部
オープンイノベーション課長 五十嵐氏

株式会社 MizLinx 代表取締役 野城氏

(順不同)

20:50~20:55 DIAGONAL RUN NAGASAKI ご紹介

20:55~21:00 クロージング 長崎都市経営戦略推進会議 議長 小川氏

■会場

「Mogi Note」(長崎市茂木町 2190-11)

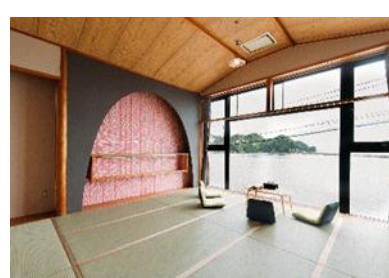
オンライン配信申込

イベントのオンライン配信の視聴をご希望の方は、以下 QR コードを読み取っていただき、NAIGAICREW 事務局宛にお申込みをお願いいたします。後日 Zoom アドレスをお送りさせていただきます。なお、お申込み者さま以外の Zoom 入室はできませんので、Zoom 入室時に、アカウント名と申込名を一致させていただきますようお願いいたします。

<https://questant.jp/q/MogiNote20220520>



拠点概要



場所

長崎市茂木町 2190-11 NAGASAKIHOUSE ぶらぶら内

プラン

- ① 月額制サテライトオフィス利用プラン
- ② 1泊付きサテライト利用プラン
- ③ 1泊1棟貸し研修プラン

※①～③は一例です。法人企業様の使い方やご予算に応じて個別にご提案させていただきます。

運営者について

株式会社 toitoitoi

代表取締役 大島 徹也

廃業した料亭「海月」をゲストハウス「NAGASAKI HOUSE ぶらぶら」へ、いけす割烹旅館「恵美」を、「NAGASAKI SEASIDE HOTEL 月と海」へ、それぞれリニューアル。茂木エリアの観光活性化を目指して宿泊施設の運営や観光関連施設の誘致などに取り組む。「泊食分離」スタイルのサービスを構築し、宿泊施設を起点として、地域の滞在や消費活動を促すことで地域全体の活性化を図り、まちづくりにも積極的に関与を行っている。

地方×都市 オープンイノベーション事例

一般社団法人 Work Design Lab の事例

Mogi Note 及び NAIGAI CREW 等と連携し、企業と地域の新しい関わり方を切り口として、長崎における「人材育成」「事業開発」の共創に取り組む。昨年、茂木において開催された「都市部企業×地方（長崎）で働く」オンラインイベントでは代表石川氏が登壇。

一般社団法人 Work Design Lab について



「イキイキと働く大人で溢れる社会、そんな大人をみて、子どもが未来に夢を描ける社会を創りたい。」というビジョンを掲げ“個人と組織のよりよい関係性を創造すること”を目的として、個人のチャレンジ、組織の変革を支援する活動を展開。「働き方をリデザインする」をテーマにした対話の場づくりや、イントレプレナーコミュニティの運営、また全国各地で企業や行政等と連携したプロジェクトを推進する。Work Design Lab には首都圏を中心に 160 名の多様なメンバーが所属。

株式会社シーエーシーの事例

地方創生・イノベーション創出及び「時間と場所にとらわれない働き方」の実現に向けた施策の一環としてワーケーションを推進しており、昨年は「月と海」にて従業員約 30 名規模のワーケーショントライアルを実施。また、いち早く「Mogi Note」の利用を開始し、活動をはじめている。

株式会社シーエーシーについて



日本初の独立系ソフトウェア専門会社として 1966 年発足。2019 年 7 月、長崎市内に「長崎 BizPORT オフィス」を開設して以降業務を拡大し、2021 年 4 月には先端技術の研究と交流の拠点である「HCTech AI Lab 長崎」を、11 月には 2 拠点めとなる「長崎 NBC オフィス」を開設した。また、雲仙市や長崎市との連携協定の締結や、産官連携したオープンイノベーション支援チームへの参画等、地域との関係を深めている。

カラビナテクノロジー株式会社の事例

ビワの日本一の産地である長崎県。その中でも茂木地区は有数の生産量を誇るが、生産者の減少・高齢化等多くの課題も抱えており、その生産プロセスの効率化の観点から、長崎大学情報データ科学部とPBL（実社会課題解決プロジェクト）を通じて連携し、課題解決に向けて取り組みを進めている。

カラビナテクノロジー株式会社について



加工食品、ミールキットなどの食品宅配を展開するオイシックス・ラ・大地株式会社の子会社であり、ECサイトのプラットフォームシステム開発、運用、WEBサイト制作等の事業を行う。また、食に関する様々な課題解決にも取り組む他、フルリモート勤務やワーケーション等新しい働き方をはじめとした、ユニークな社内制度による社員が働きやすい環境の構築も積極的に推進。

伊藤忠インタラクティブ株式会社の事例

漁業従事者の所得向上という長崎の地域課題の解決に向け、長崎地場企業とのオープンイノベーションによる事業創出プロジェクトに取り組んでおり、同プロジェクトに参画する土居氏は都市部企業×地方（長崎）で働く」オンラインイベントにも登壇している。

伊藤忠インタラクティブ株式会社について



1982年に情報機器関連商社として設立し、現在はデジタルマーケティング事業を中心に展開。クライアント企業の課題抽出、戦略立案からアクションプランの実行、運用等に取り組む。漁業従事者の所得向上という地域課題の解決に向け、長崎の地場企業「株式会社ジョイフルサンアルファ」、「F.デザイン NAGASAKI 株式会社」オープンイノベーションによる共創にて、魚のサブスクリプションサービス「おさかなサブスク」の構築に取り組んでいる。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社の事例

「明日を変える IT の可能性に挑み、夢のある豊かな社会の実現に貢献する。」という使命のもと、新規事業の開発を含むイノベーションの創出を実現するための Innovation Space DEJIMA を運営。地域課題を起点として、地方と都市の共創による事業創出を目指す「デジマ式 plus」の開催やオンデマンド型交通による MaaS の実証実験など地方拠点をフィールドにビジネス展開をしている。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社について



コンサルティングからシステム設計、開発・構築、運用・保守サポートまでのトータル・ソリューションを提供する。東京都品川区でイノベーション拠点「Innovation Space DEJIMA」を運営する。

株式会社ヴァンクラフトの事例

「Mogi Note」を運営する株式会社 toitoittoi の宿泊施設「月と海」を起点として、チェキを活用して宿泊客や地域を掛け合わせた地域活性化策を模索。Toitoittoi が目指す地域丸ごとホテル「アルベルゴディフーズ」の実現に資する取り組みとして連携する。

株式会社ヴァンクラフトについて

vancraft

コンセプトメイクからアウトプットまでを、デジタルを中心としたプロモーションやグラフィック、映像、キャンペーンサイト、ECサイト構築等に取り組む。広告のコミュニケーションツールが多様化する中、「何を」「どのように」伝えるかを常に意識しながら企画・制作を行う。

雲仙市の事例

NAIGAICREW 参画自治体であり、地域内外の連携による地域課題解決を模索する。同市小浜町雲仙にはその拠点となる交流コミュニティ拠点として廃校活用施設「雲仙 BASE（ベース）」（旧雲仙小中学校）を設置。企業や学生等との連携を深めている。また、仮想大学「雲仙大学」構想を進め、課題を抱える市内各地域をキャンパスに見立てて、オープンイノベーションによる課題解決の仕組みとして検討を行っている。

雲仙市について



長崎県南東部、島原半島の北西部雲仙普賢岳を取り巻くように位置。人口 41,911 人（R4 年 4 月時点）。農業産出額 244,7 億円（長崎県内 1 位）海と山に囲まれた豊かな自然（日本初の国立公園に指定）と日本一の湧出量と熱量を誇る小浜温泉等、多様な観光コンテンツを誇る。

オープンイノベーション型新規事業創出支援組織「NAIGAICREW」の事例

「Mogi Note」と連携し、茂木におけるコミュニティ醸成・プロジェクト創出を図る。昨年には「都市部企業×地方（長崎）で働く」をテーマに、茂木において都市部企業向けにオンラインイベント及びリアルイベントを(株)長崎経済研究所と共同で開催した。

NAIGAICREW について



オープンイノベーション型新規事業創出を支援するため、広域自治体・基礎自治体・メディア・金融機関等が横断的に連携したチーム(任意組織)。「長崎における地域課題抽出」、「長崎地場企業等のネットワーク提供支援」、「プロジェクト実証に向けた調整支援」、「プロジェクトの伴走支援」の 4 つの支援機能をもって、オープンイノベーション型新規事業創出支援を行う。行政・金融・メディアによる支援は、県外企業の信頼性を担保し、地場企業との円滑な共創関係構築を促進する。

取材申込

取材にお越しいただく場合は、下記にご連絡いただき、事前にお申込みください。

【連絡先】 株式会社 toitoittoi TEL : 095-836 - 2920